

平成 28 年 6 月 13 日

各 位

会社名 株式会社アカツキ
代表者名 代表取締役社長 塩田 元規
(コード番号 3932 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理事業部長 小川 智也
(TEL 03-6451-0277)

株式会社そとあそびの株式取得（子会社化）及び ライブエクスペリエンス事業（LX 事業）の開始に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 6 月 13 日開催の取締役会において、株式会社そとあそび（本社：東京都港区 代表者：中島 裕 以下「そとあそび社」）の全株式を段階的に取得するとともに、株主間契約を締結することを決議いたしました。また本株主間契約に伴い、連結財務諸表に関する会計基準等における支配力基準により子会社とすること、及びライブエクスペリエンス事業を開始することにいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社グループの提供価値及び事業領域について

当社グループは、「感情を報酬に発展する社会」という社会ビジョンを掲げ、ゲームの力（＝人の心を動かす力）を使ってワクワクする体験や自発的な活動を生み出すことで社会ビジョンを実現することをミッションとしております。これまではモバイルゲーム事業のみを行ってまいりましたが、今後はこれまでゲームの領域で培ってきた、ワクワクする体験や感動を提供するためのノウハウやテクノロジーをリアルライフ領域にも活用し、単なる効率化や低価格化だけではない、人の心を動かすサービスを提供してまいりたいと考えております。

現代は「モノの消費」から「コトの消費」の時代と言われており、目に見える商品へのニーズよりもサービスや体験など、目に見えない価値に対するニーズに世の中全体がシフトしてきております。併せて、スマートフォンの普及を契機として、デジタルの世界とリアルの世界がより近接し、サービスにおいても両者の境界がより接合してきております。このトレンドは、今後 VR（仮想現実）や AR（拡張現実）の発達により、さらに加速してくるものと予想されます。

このように、当社グループが得意とする「人の心を動かす」サービスのニーズは、日常生活のあらゆるシーンにおいてより一層高まってくると考えられることから、①ビジョンに適合し、②市場としての規模感・成長性が見込め、③強みを活用できる領域について積極的に参入していき、より多くの人に、人生をより彩り豊かに、カラフルにする価値を提供していきたいと考えております。

2. 株式取得の目的及び事業開始の趣旨について

1) ライブエクスペリエンス事業（LX 事業）の開始

リアルライフ領域への事業進出の第一歩として、このたび当社グループは「ライブエクスペリエンス事業」の開始を決定いたしました。

ライブエクスペリエンス事業（以下、LX 事業）とは、ライブ（生の、リアルな、ワクワクする）・エクスペリエンス（体験）の意味で、人々にワクワク・感動するリアルな体験を提供する事業と位置付けております。例えば、旅ナカ・アクティビティ、旅行、インバウンドなどのリアルな体験の機会を提供するサービス等を広く含むものです。

LX 事業におけるサービスは、さまざまな体験を通じて人々に感動を与えるサービスであり、我々のビジョンと強く適合する事業領域です。

そして LX 事業の柱の 1 つとなる旅ナカ・アクティビティ市場は、コトの消費の高まりに伴い近年大きく成長している市場です。さらに、潜在的な顧客層はまだ数多く存在し、正に市場が創出されつつある未開拓の状況であると捉えております。加えて、旅行市場全体を見ても国内・海外旅行全体で約 26 兆円と既に大きな市場規模を有しているだけでなく、2020 年には東京オリンピックの開催が予定されている中で海外観光客の大幅な増加も予測され、インバウンドによる更なる市場拡大も見込まれています（出典：一般社団法人日本旅行業協会「数字が語る旅行業 2015」）。

また、LX 事業は、リアルな場におけるワクワク体験を提供することがサービスの根幹にあることから、サービスによって人の心を楽しくするというゲーム事業の強み・ノウハウが活用しやすい領域であると考えています。

このように①ビジョン適合性、②市場規模・成長性、③当社グループの強みの観点から、当社グループは LX 事業の開始を決定し、現在、自社オリジナルのサービスを企画・開発しております。これに加えて、当事業の成長を一気に加速すべく、以下に記載するような事業シナジーの実現を企図し、そとあそび社の子会社化を決定いたしました。

2) M&A によるシナジー

2004 年に設立されたそとあそび社は、初心者が気軽に安全にアウトドアを「レジャー」として楽しめる情報インフラを創ることを目指しております。年間取扱高 3 億円を超える予約サイト『そとあそび』を運営し、アウトドアレジャーの魅力を伝えることで、継続的な成長を実現してきました。同サービスの長年の運営により、同社は数多くのアウトドアレジャー事業者の皆様との強固な信頼関係・ネットワークを構築し、良質な企画・コンテンツを豊富に獲得しております。また、その良質なコンテンツの提供によりロイヤリティの高いユーザー基盤を保有しております。これらの資産は当社グループには存在せず、また、いずれも構築・獲得には長い時間を必要とするものです。

一方、当社グループはゲーム事業において以下の 4 つの強みを有しており、これを LX 事業においても応用し、他社と差別化した価値・サービスを提供する事ができると考えております。

①当社グループが得意とする世界観やストーリーを活かした企画力・プロデュース力は、LX 事業においてもメディアや企画作りに活用することができます。

②あらゆるサービスにおいてスマホシフトが進む中で、ゲーム開発で培った高い技術力・開発スピードは、そとあそび社のサービス開発にも広く適用することが可能です。

③ユーザーデータ分析に基づくマーケティングやデータドリブンのPDCA サイクルの実施といった高いサービス運用力は、LX 事業のサービスにおいても活用でき、マーケティング効率やユーザーの満足度向上に大きく寄与するものと考えております。

④台湾子会社における複数言語で展開できる海外オペレーション力は、インバウンドを取り込むための海外ユーザーへのサービス展開にそのまま活かすことができます。

このように、そとあそび社、当社グループのそれぞれがもつ資産を合わせることで、自社単独で事業を行うよりも LX 事業の成長スピード・成功可能性を大きく高めることができると考えております。

3) 人・組織による競争優位性、企業文化の適合性

当社グループは、「人材が最重要の資産」と考えており、素晴らしい人材の採用と人材を活かす組織作りが、中長期的な成長にとって最も重要であると考えております。この考え方は M&A においても同様で、人・組織によるレバレッジが可能かどうか、M&A を実行する上での重要な判断基準となっております。

そとあそび社は、お客様にとって「余暇」の選択肢としてアウトドアレジャーを当たり前のように想起してもらえる世の中を作ること、アウトドアレジャー業界全体の信頼を上げることを存在意義と考えており、ワクワクする体験が人を変え、人生を幸せにしていこう、当社グループと本質的に同じ理念を掲げています。また、人材を重視し、意義や社員の想いを大切にする組織風土も共通しております。

この共通する理念・組織風土を土台とし、人や組織をレバレッジさせることで、単なる事業シナジー以上の大きな成果を達成することができると信じております。

当社グループは、ゲームのみならずリアルライフ領域においても多くの方にワクワクする体験をお届けし、「ライブエクスペリエンス市場」自体を創出・拡大する主体的な役割を担っていきたいと考えております。

3. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容	<u>ライブエクスペリエンス事業 (LX 事業)</u> ライブ (生の、リアルな、ワクワクする)・エクスペリエンス (体験) の意味で、人々にワクワク・感動するリアルな体験を提供する事業。例えば、旅ナカ・アクティビティ、旅行、インバウンドなどのリアルな体験の機会を提供するサービス等を広く含む。
(2) 当該事業を担当する部門	当社新規事業部、株式会社そとあそび

4. 株式会社そとあそびの概要

(1) 名 称	株式会社そとあそび	
(2) 所 在 地	東京都港区白金台5丁目9番8号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中島 裕	
(4) 事 業 内 容	「アウトドアレジャーそとあそび」事業の主催・運営	
(5) 資 本 金	110,000 千円	
(6) 設 立 年 月 日	平成 16 年 6 月	
(7) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	代表取締役社長 中島 裕 (54.1%) B Dash Fund 2号投資事業有限責任組合 (44.4%) その他個人株主 1 名 (1.4%)	
(8) 上場会社と当該会社 との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 26 年 2 月期	平成 27 年 2 月期	平成 28 年 2 月期
純 資 産	7,581 千円	168,074 千円	74,352 千円
総 資 産	17,031 千円	184,716 千円	87,238 千円
1 株当たり純資産	216.61 円	4,802.12 円	2,124.36 円
売 上 高	18,716 千円	17,163 千円	30,976 千円
営 業 利 益	298 千円	△37,897 千円	△92,541 千円
経 常 利 益	99 千円	△39,061 千円	△93,431 千円
当 期 純 利 益	29 千円	△39,507 千円	△93,721 千円
1 株当たり当期純利益	0.84 円	△1,102.88 円	△2,082.71 円
1 株当たり配当金	—	—	—

5. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	中島 裕、その他個人株主1名
(2) 住所	東京都品川区 他
(3) 上場会社と当該個人の関係	当該個人である中島裕氏は今回株式を取得する株式会社そとあそびの代表取締役社長であります。 当社と同氏及びその他個人株主1名との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

(1) 名称	B Dash Fund 2号投資事業有限責任組合	
(2) 所在地	東京都港区赤坂一丁目12番32号	
(3) 設立根拠等	投資事業有限責任組合契約に関する法律に基づく投資事業有限責任組合	
(4) 組成目的	シード・アーリーからレイターまで幅広いステージにおける国内外のスタートアップへ投資	
(5) 組成日	平成26年6月25日	
(6) 出資の総額	情報を入手していないため非開示とさせていただきます。	
出資者・出資比率・出資者の概要	(7) 情報を入手していないため非開示とさせていただきます。	
(8) 無限責任組合員の概要	名称	B Dash Ventures 株式会社
	所在地	東京都港区赤坂一丁目12番32号
	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 渡邊 洋行
	事業内容	ベンチャーキャピタル事業
	資本金	5,000千円
(9) 上場会社と当該ファンドとの関係	上場会社と当該ファンドとの関係	該当事項はありません。
	上場会社と業務執行組合員との関係	該当事項はありません。
	上場会社と国内代理人との関係	該当事項はありません。

6. 株主間契約の内容

第1回株式譲渡以降引き続き保有する既存株主と当社との間で締結する株主間契約は、第1回株式譲渡以降全ての株式譲渡が完全に履行されるまでの間、株式会社そとあそびの株主総会において、既存株主が保有する対象会社の株式に係る議決権の行使を当社の議決権行使内容に合わせることを他、当社の要請に従い最大限の協力を行うことを織り込んだ内容となっております。

7. 第1回取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	普通株式 一株 (議決権の数 一個) (議決権所有割合 ー%)
(2) 取得株式数	普通株式 9,900株 (議決権の数 9,900個)
(3) 取得価額	株式会社そとあそびの普通株式 220,007千円 アドバイザー費用等(概算額) 10,000千円 合計(概算額) 230,007千円
(4) 異動後の所有株式数	普通株式 9,900株 (議決権の数 9,900個) ※ (議決権所有割合 15.7%)

※ 同意している者の議決権(53,100個)は含まれておりません。

8. 今後の取得予定

(1) 第2回取得株式数、取得価額及び取得後の所有株式の状況(予定)

① 取得時期(予定)	平成28年10月31日
② 取得株式数(予定)	普通株式 26,100株 (議決権の数 26,100個)
③ 取得価額(予定)	株式会社そとあそびの普通株式 580,020千円 アドバイザー費用等(概算額) ー千円 合計(概算額) 580,020千円
④ 異動後の所有株式数(予定)	普通株式 36,000株 (議決権の数 36,000個) ※ (議決権所有割合 57.1%)

※ 同意している者の議決権(27,000個)は含まれておりません。

(2)第3回取得株式数、取得価額及び取得後の所有株式の状況(予定)

① 取得時期(予定)	平成29年6月12日
② 取得株式数(予定)	普通株式 13,500株 (議決権の数 13,500個)
③ 取得価額(予定)	株式会社そとあそびの普通株式 300,010千円 アドバイザー費用等(概算額) ー千円 合計(概算額) 300,010千円
④ 異動後の所有株式数(予定)	普通株式 49,500株 (議決権の数 49,500個)※ (議決権所有割合 78.6%)

※ 同意している者の議決権(13,500個)は含まれておりません。

(3)第4回取得株式数、取得価額及び取得後の所有株式の状況(予定)

① 取得時期(予定)	平成30年6月11日
② 取得株式数(予定)	普通株式 13,500株 (議決権の数 13,500個)
③ 取得価額(予定)	株式会社そとあそびの普通株式 300,010千円 アドバイザー費用等(概算額) ー千円 合計(概算額) 300,010千円
④ 異動後の所有株式数(予定)	普通株式 63,000株 (議決権の数 63,000個) (議決権所有割合 100.0%)

※上記のとおり、当該事業の開始のために特別に支出する金額は、第1回から第4回の取得価額合計1,410,047千円を予定しております。

9. 日程

(1) 取締役会決議日	平成28年6月13日
(2) 契約締結日	平成28年6月13日
(3) 株式譲渡実行日	平成28年6月14日(予定)

10. 今後の見通し

本件が平成29年3月期の業績に与える影響につきましては現在、調査中であります。

(参考) 当期連結業績予想 (平成 28 年 5 月 12 日公表分) 及び前期連結実績

(単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 29 年 3 月期)	7,000 ~10,000	2,000 ~4,000	2,000 ~4,000	1,400 ~2,800
前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	5,954	2,146	1,974	1,112